

ご案内 「第6回 MELON 会員のつどい」

MELONでは、「第6回維持会員のつどい」を6月23日（土）13：30からフォレスト仙台のフォレストホールを会場に開催します。

昨年度のつどいでは「新世紀に向けて地球環境はこのままでいいのか？」と題して、大変興味深い内容で、シンポジウムを行いました。新世紀の幕開けとなる今年は、これまでのMELONの活動の蓄積をふまつつも、より市民に根ざした、もっとNGOらしい活動へと脱皮していく必要があるのではないのでしょうか。

また、「ストップ温暖化センターみやぎ」も指定を受けて、1年が過ぎようとしています。この間、センターではエコライフカレンダー2001やみやぎ環境白書の作成、シンポジウムの開催など多彩な活動を展開してきました。この1年間の活動を振り返り、現在、センターにどのような活動が求められているのかを、みなさんと考える絶好の機会です。

記念講演では「北海道グリーンファンド」事務局長の鈴木亨さんを講師にお招きし、MELONが踏み出そうとしている風力発電をはじめとする自然エネルギーについて講演い



2000年度 MELON会員のつどい

ただく予定です。

NPO「北海道グリーンファンド」(札幌市中央区)は、日本初の市民による風力発電所建設を目指しており、宗谷管内浜頓別町に出力1000kWの風力発電機1基の建設を決め、今年2月に株式会社「北海道市民風力発電」を設立しました。

今年の「つどい」は、21世紀のMELONの行く手を方向づける、きわめて大切なつどいです。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

記

日時：6月23日（土）13：00開場 13：30開会
会場：フォレスト仙台 フォレストホール
記念講演：鈴木 亨氏

北海道グリーンファンド事務局長
株式会社北海道市民風力発電社長

<Index>

案内	第6回維持会員のつどい	1	シース	浜の風物詩（最終回）	5
特集	理事会学習会「グリーン電力制度」	2	案内	みやぎ生協・日専連から寄附金	6
案内	「ダイオキシンの夏」上映	3	案内	会費納入のお願い	6
案内	環境市民講座年間予定表	3	報告	大豆トラスト・味噌作り	6
シース	ときの人	4	シース	ストップ温暖化センターみやぎ『通信』③	7
シース	かんきょう読み聞かせ ③②	4	案内	宮城県NGO/NPOイベントカレンダー	8
報告	市民講座第1回	5		MELON環境クイズ	8
案内	市民講座第2回	5			

報告

「東北グリーン電力基金」

MELON理事会
学習会

地球にやさしいエネルギーとして、いま、風力発電や太陽光発電等の自然エネルギーが注目を集めており、MELONでも風力発電を自分達の手で…という動きが出てきています。

3月21日に開催されたMELON理事会では、東北電力から講師として、企画部新エネルギー担当の佐藤成俊氏をお呼びして、自然エネルギーの普及を目的とした「東北グリーン電力基金」について学習会を行いました。



2000年度 第6回 理事会の学習会

1. 自然エネルギーの長所・短所

自然エネルギーには長所と短所があります。

長所

- (1) クリーンで環境にやさしい
- (2) 枯渇することがない

短所

- (1) 出力が小さく、設置場所が限られる
- (2) 気象条件により出力が不安定で、調整ができない
- (3) 既存の電源に比べてコストが割高

出力が不安定ではありますが、東北地方の多くの場所に風力発電所を設置すれば、あるところでは無風でも、別のどこかで風が吹いており、平均をとれば供給力になりうるのではないかと考えられています。

また、コストが割高であるという点では、既存電源に比べ、まだまだ高いので、国の補助金や優遇価格での売電という支援策に頼っているのが現状です。

このようなことから、主力電源にはなりません。が、地球環境問題や石油等の節約を考えると、避けて通れない分野です。

2. グリーン電力基金創設の背景と創立

グリーン電力基金創設の背景としては、

- (1) 技術革新や普及にともなう着実なコストの低減
- (2) 一般消費者の環境貢献意識の高まり
- (3) 電力市場の自由化と地域偏在問題の顕在化

の3点が挙げられます。

(3)については、電力会社が一層のコスト低減を推進中であり、風力発電の適地が多い北海道では、導入制限を設定するなどの動きがあります。

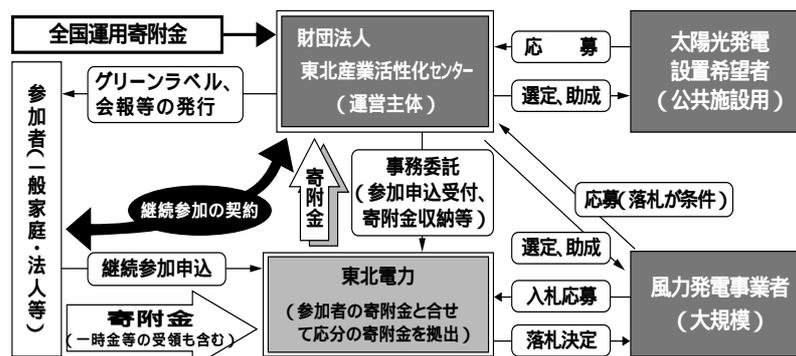
また、自然エネルギーはコストが高いことが最大のネックですが、一方で環境貢献意識の高まりなどの変化もあり、そのような背景から発電事業者、電力会社、消費者各々が自然エネルギーの普及に一致協力していくことを目的に「グリーン電力基金」が創立されました。

3. グリーン電力基金のしくみ

グリーン電力基金の仕組みについては、図に表されています。まず、基金の運営は「(財)東北産業活性化センター」が行い、東北電力は 申込の受付や寄附金の収納を代行 PR活動と自ら寄附金の拠出の2つを担当します。

また、全国各地で集まった寄附金の一部は風力発電の地域偏在を踏まえ、地域を越えて弾力的に運用されます。

東北グリーン電力基金の制度概要



「ダイオキシンの夏」上映

みやぎ生協と東日本放送は、8月下旬～10月上旬にかけて「ダイオキシンの夏 セベソ少年探偵団」を上映します。こどもが主人公のアニメ映画を通して、親子で環境問題に関心をもつよい機会です。

映画は、1976年のイタリア北部、アルプスのふもとの町セベソが舞台。実際におきた化学工場の爆発事故で、ダイオキシンがセベソの町全域に広がり、動物の死亡、人間への被害が広がる中、町のこども達が少年探偵団を作って、「わたしたちの未来はわたし達が守るのよ」というメッセージを伝えます。

事務局では県内30ヶ所で上映実行委員会をつくらせて進め、MELONは「協力」で参加します。お問い合わせは下記事務局まで。

試写会: 6月6日(水) エルパーク仙台(三越仙台店隣)
お問い合わせ先

「ダイオキシンの夏上映運動事務局」(みやぎ生協生活文化部内)

担当: 篠原富雄 住所: 仙台市泉区八乙女4-2-2
電話: 022-218-3880



©2001映画「ダイオキシン」製作委員会

ご案内

2001年度環境市民講座 <参加者募集中>

第2回	日時 5月12日(土) 14:00~16:00 場所 仙台市 フォレスト 501会議室 内容 「健康住宅を考える」 講師 星 ひとみさん(一級建築士) 主催 ストップ温暖化センターみやぎ 共催 みやぎ生協	第6回	日時 11月中旬 場所 仙台市 内容 シンポジウム 「自然エネルギーを考える」 主催 ストップ温暖化センターみやぎ・みやぎ生協
第3回	日時 6月9日(土) 10:00~14:00 場所 仙台市泉区 ウィズ (みやぎ生協文化会館調理室) 内容 「MELON親子大豆クッキング」 主催 緑・食部会 共催 JAみやぎ中央会・みやぎ生協	第7回	日時 11月23日(祝) 10:00~14:00(小雨決行) 場所 仙台市青葉区勾当台公園市民ひろば 内容 第6回MELONみんなでおさがり市 主催 ごみダイエツプロジェクト 共催 日専連・みやぎ生協
第4回	日時 8月25日(土) 13:30~15:30 場所 仙台市 フォレスト仙台5階 内容 「-もの言わぬ大気とともに-」 病んでいる地球・異常気象etc... 講師 山下 洋さん(気象コンサルタント・理学博士) 主催 セミナー企画プロジェクト・ストップ温暖化センターみやぎ 後援 みやぎ災害救援ボランティアセンター	第8回	日時 12月上旬 場所 韓国 内容 「韓国農業生産者との交流」 「韓国協同組合の視察」 主催 緑・食部会 共催 JAみやぎ中央会・みやぎ生協
第5回	日時 10月16日(火) 10:00~12:00 場所 仙台市 フォレスト仙台5F 内容 未定(リフォーム・リサイクルなど実践的なテーマを検討中) 主催 セミナー企画プロジェクト	第9回	日時 2002年2月17日(日)(予定) 14:00~ 場所 伊豆沼・蕪栗沼 内容 冬の渡り鳥観察会 主催 水部会 協力 ストップ温暖化センターみやぎ・みやぎ生協・宮城県漁連

お問い合わせ・参加申し込みは、MELON事務局まで(電話・FAXは8ページ参照)

ときの人 ⑬

星 ひとみさん(泉区役所建築宅地課)

このコーナーでは、現在、環境保全のためがんばっている人、行動する人などにスポットをあてて紹介します。



星さんは泉区役所の建築宅地課の職員で一級建築士の資格をもっています。

星さんは、出産と新築の時期が重なり、その影響もあってか、そのお子さんがひどいアトピーになりました。そのことが星さんを「健康住宅」へと駆り立てました。

最近の住宅について星さんは「高気密・高断熱住宅は、24時間換気せざるを得ないために、逆に電気代がかかってしまう。換気しないと今度は健康を害する」と、窓をあけ外の空気を取り入れる大

切さを話します。

また、「木の住宅はコンクリートなどと違って、やわらかさがあり、鉄の船の内装に木を使うのも、航海中に気がいら立ちけんかが多発するのを防ぐ意味もある」と、木の効用を説明してくれました。

「『身土不二』(近くで採れたものが最も体によい)という言葉は食物だけではなく、木にもいえることで、われわれ消費者自身が国産の木をもっと使うようにしていかなければならない」とのことでした。



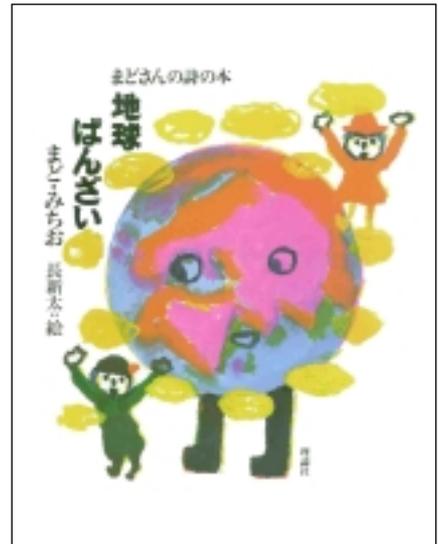
「地球ばんざい」

ありません。じゃ、わたしたちはどうすればいいのでしょうか。『論理的な駆け引き』の言葉でない、言葉を見つけだすことかもしれません。弁護士や科学者をたくさんつ

くるなら、それと同じ数だけ、別の言葉をつくりだす詩人や劇作家も育てて欲しいのです。

まどみちお 作、長新太 絵「地球ばんざい」はよく分かる言葉で、よくわかる言葉のしかけで、地球と自然と人間のつながりを歌っています。くり返して読んでみると、そのことがよく分かります。くり返して読んであげれば、詩人を作り出すことができるかもしれません。

あっ、そういえば、温暖化をなんとか防止しようと世界中の人が京都に集まってとりきめた約束を、世界でいちばんその原因を作り出しているはずのアメリカが「我国の利益にならない」と抜けてしまったのですね。



窓の外を気にしながら歩いていたら、廊下で人にぶつかった。「ごめんね」というか「ほんとうにごめんね」というか、「窓の外の光景は私の目をうばわざるを得ない異常な事態だった。しかし、この事故の全責任はわたしにある。」というか「わたしがこの廊下を歩くという行為は通常許される範囲であり、お互いがその許容された行為を同一時間、同一場所で行うことも確率的には起こりうる事態ではあるが……」というだろうか。

日本でも、いま、『アメリカのように』裁判で活躍できる人を急いでたくさん作ろうという動きになっています。『国際的』にならなければいけないのだそうです。自分の利益を守るための、『論理的な駆け引き』が大切な時代になってしまったのです。

でも、相手の不注意で自分が痛い目にあったというのに、「確かに相手にも、廊下を注意して歩く義務があった……」などといわれたくは

報告

コンセント毎日抜けばくせになる



MELON環境市民講座第1回石巻講座が4月11日、みやぎ生協石巻大橋店で開催されました。第1回の市民講座は「地球とお財布にやさしい暮らし方のススメ」と題して、20人の参加者を集めて行われました。

講習会の中で、講師の田中陽子さんはエコライフが環境だけでなく、財布にもやさしいことを実例を挙げながら説明しました。

古川からの参加者は、「次は、ぜひ、古川でもやってほしい」、また、アンケートでは「地球温暖化は一人一人の行動がいかに大事かということが改めてわかった。」という感想が寄せられていました。



第1回環境市民講座

ご案内

健康住宅を考える



2001年度の環境市民講座第2回は5月12日に開催されます。テーマは「健康住宅を考える」。住宅は、「人に触れる第3の皮膚」とも言われています。「体に優しい住まい、地球に優しい家」をやさしく考えていきたいと思えます。

今回は、シックハウス・化学物質過敏症にならないような健康住宅について考えます。

講師の星さんは今号の「ときの人」(4ページ)で紹介されている一級建築士です。他にも森林との共生を考える会理事、杜の家ネットワーク会員、シッ

クハウスを考える会会員、アレルギーの子を持つ親の会会員など、たくさんの活動をされています。

この環境市民講座で、健康住宅とは何かをみなさんと考えてみませんか。

記

日 時：5月12日 14:00～16:00

会 場：仙台市青葉区フォレスト仙台5F 501会議室

講 師：星 ひとみさん

参加費：500円(資料代)

歌津町役場
三浦 毅

魚偏に春と書いて鱈(さわら)と読みますが、これは関西地方でのこと。三陸地方で、春告魚と書かれる魚は、俗称ヨドと呼ばれコウナゴを指します。この稚魚(イワシなども交じり合っていますが)を歌津ではシラスと呼び、いずれも小型動力船による棒受け網漁法で捕獲します。

ところで、歌津にはシラウと呼ばれ、春を告げる魚がもう一つあります。ハゼ亜目ハゼ科の「シロウオ」です。沿岸域で遊泳生活をし、一年で5cmほどの細長い円筒状で透明な魚体となり、春に河川を蘇上、干潮満潮を行ったり来たりしながら石の下に産卵します。この習性を利用したのが、石で幾何学的模様にヤナを組んだシラウ漁です。

この漁法はずいぶん古くから行われており、歌津大橋の下、伊里前川の河口で、この漁法が生んだ芸術模様を眺めることができます。このシラウ漁では、

「シラウ」(白魚)

同じ時期にシラウオも交じっている場合もあります。シラウオも透明で同じような形をしておりますが、こちらは脂ビレを持ったサケやマスの近縁です。腹面に、2列の小さい点が縦走しているのが特徴です。シロウオはこれがなく、体の中央下部に赤球状の浮き袋が見えるのが特徴です。



シラウは、塩仕立ての吸いものの椀種にすると上品な味となります。生きたままを二杯酢でおどり食いにもされますが、成魚のためか骨身がしっかりしており、おどり食いは噛まずに飲み込むのがコツです。

春の日差しを浴びながら、影もおぼろにのどかに泳いでいるその姿も、序々に減りつつあります。

「浜の風物詩」の連載は今回で終了となります。長い間ご愛読ありがとうございました。

報告

みやぎ生協
日専連から

MELON へ 寄附金

3月7日、日専連ピープで「日専連地域貢献活動支援拠金贈呈式」が行われました。

この贈呈式は日専連仙台が毎年、地域に貢献する活動に対して寄附金を贈呈するもので、MELONの他に「日本盲導犬協会」と「光のページェント実行委員会」に寄附金が贈呈されました。

贈呈式には、MELONから西條副理事長と斎藤事務局長が出席、日専連仙台の高橋確理事長から寄附金約103万円を受け取りました。

日専連以外にも、3月20日みやぎ生協から約217万円が寄附されています。これらの寄附金は「みやぎ生協MELON協力商品券」と「日専連MELON協力商品券」の売上の一部がMELONへ寄附されるというもので、活動資金や基金造成に活用させていただいております。ご贈答の際は、ぜひ「MELON協力商品券」をご利用ください。



日専連・高橋理事長から寄附を受ける西條副理事長

ご案内

2001 年度会費の納入についてのご案内

日頃より財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) の事業にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度は、「連続市民講座」の地域開催、「ストップ温暖化センターみやぎ」の立ち上げなどMELONの様々な活動が数多くの市民の方の注目を集めました。

本年度も各部会の協力の下にMELON環境市民講座を含め盛りだくさんの行事の開催を計画しており、改めて会員の皆様からのご支援をお願い申し上げます。

さて、皆様のご協力により会費の納入率が大幅にアップしており、MELONの活動にとりまして大きな支えとなっていますことに感謝申し上げます。

つきましては、本年度の会費の納入につきましても昨年同様に納入していただきますようお願いいたします。会費納入用の「振込用紙」につきましては、

5月下旬の情報誌とともに送付させていただきます。

みやぎ生協メンバーの方の口座引き落とし、みやぎ生協職員の方の給与からの引き落としも同時期にお願いしておりますので、ご了承ください。

また、本年度4月1日以降入会の方につきましては、本年度内の納入はございません。

記

会員区分(会費納入方法)	会費納入時期
一般会員(振込み)	7月5日迄

なお、みやぎ生協メンバーの方の口座引き落とし、みやぎ生協職員の方の給与からの引き落としに関しましては、別途ご案内申し上げます。

報告

大豆畑トラスト運動

自ら栽培した大豆でみそ造り

MELON緑・食部会

MELON緑・食部会が取り組んでいる「大豆畑トラスト運動」のメンバー9人は3月8日、JAみどりの田尻支店管内の加工施設で自分たちが栽培した大豆を使ったみそ造りを行いました。



メンバーはJAみどりの女性部田尻支部の方々の指導でみそ造りに挑戦。大豆やこうじ、塩などみそ造りに必要なものすべてを田尻支部の方々が準備したため、大豆とこうじ、塩を混ぜ合

わせてすりつぶすだけの作業でした。

参加したメンバーは「大豆も米も塩も厳選された一級品ばかりで食べる日が楽しみ」「何でも簡単に手に入る中、原料がはっきりわかる手作りは最高のぜいたく」などと話し、仕込んだみそが食べられる十か月後を楽しみに、みそを持ち帰りました。

緑・食部会は県内で作付けが増えている大豆の消費拡大を図り、遺伝子組み換えのない安全な大豆でみそを造ろうと、昨年5月に大豆の種まきを行い、その後草取り、収穫などの作業をしながら、大豆を通して宮城の農業がおかれている現状などを学びました。

緑・食部会では2001年度も大豆畑トラスト運動を継続する予定です。

報告

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」③

「京都議定書を守れ! 緊急市民集会inみやぎ」開催

4月12日(木)10:30より、フォレスト仙台を会場に「京都議定書を守れ! 緊急市民集会 in みやぎ」が開催されました。(参加者30名、賛同メール56通)この集会は、3月末の米国ブッシュ政権による事実上の京都議定書離脱表明に対して、この宮城からも抗議の声を上げていこうという主旨からMELONを中心とした実行委員会が企画したものです。

地方都市で初の開催となった本集会では、気候ネットワークの小倉正氏がこれまでの経過を報告し、参加者からも具体的で積極的な意見が数多く出されました。

集会では最後に、米国への抗議文、日本政府への要請文を決議し、地方議会からの抗議・要請の動きを促していくことや、7月に開催予定のCOP6に

代表を派遣すること、今後もこの運動を県内各地に広めていくことなどを集会アピールとして確認しました。

また、集会後も賛同のメール・FAXが多く寄せられており、MELON・ストップ温暖化センターみやぎとしてもこの集会の今後の展開を力強く支えていきたいと考えています。

(ストップ温暖化センターみやぎ 櫻井常矢)



モニター交流会開催

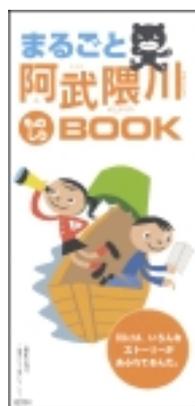
3月29日(木)フォレスト仙台2階の第2会議室で、「環境家計簿CD-ROMモニター交流会」が開かれました。昨年、「環境家計簿CD-ROM」を作成し、県内各地に普及、506名のモニターに2000年1月から12月までの電気・ガス等の使用量・料金・「エコチェック」などの入力とアンケート及びデータの提供をお願いしました。

交流会では、データの集計・分析の結果から見えてきた、宮城県のエネルギー使用の実態が報告されました。また、モニターの方々のエコライフのコツや暮らしの提案などの意見交換が活発に行われ、毎日の生活の中で、できることから始めていくことが大切だということ、改めて考えるよい機会となりました。

2000年度成果物

宮城の川マップシリーズ第3作
「阿武隈川流域マップ」

東北で2番目に長く、福島県を含め29の市町村を流れて海に注ぐ阿武隈川。この度、「まるごと阿武隈川ものしりBOOK」が完成しました。クイズやイラストを通して阿武隈川の歴史や自然、人の生活とのつながり、様々に趣を変える川岸の様子や一年を通して行われている行事などを楽しく紹介しています。



水辺ごみマップ「Gomic2001」完成

クリーンアップ蒲生の全面協力を頂き、宮城県内17浜の海岸ごみの調査を行った結果をもとに、「Gomic2001」が完成しました。表紙をスタートし、パビリオンを見学するようにページが構成されており、海岸ごとのごみの分布や情報、ごみの歴史、海辺で活動をしている人たちの紹介など、情報満載です。

市民がつくるみやぎ環境白書完成

(財)省エネルギーセンターの助成を受け、今年も「市民がつくるみやぎ環境白書」が完成しました。

「省エネルギー・自然エネルギー」に関する特集を組んでいるほか、県内の様々な環境に関する活動を行っている方々の活動の内容などを掲載しています。

みやぎエコライフヒント集完成

「まず、地球のために私たちが毎日の生活のなかでできることは？」省エネ・ごみ・水・自然・森林などテーマごとに現状の解説や私たちが生活の工夫を始めるきっかけとなるヒントをたくさん盛り込んだ一冊です。

入手方法・お問合せは「ストップ温暖化センターみやぎ」まで。(8ページ参照)

5月～7月イベントカレンダー

仙台市を中心にしたNGO/NPOの5～7月のイベントを集めました。7月以降のイベントは次号に掲載する予定です。なお、紙面の関係で掲載できない団体もありましたので、ご了承ください。詳細は各団体にお問い合わせ下さい。

蒲生を守る会	5/6(日) 蒲生海岸自然観察会 9:30～ 蒲生海岸 980-0874 仙台市青葉区角五郎2-4-6 022-223-5025(木村)
日本野鳥の会宮城県支部	5/6・13・27(日) 探鳥会 http://homepage1.nifty.com/magpie/wbsj-miyagi/index.html 980-8691 仙台中央郵便局私書箱第127号
日本自然保護協会 宮城県自然観察指導員連絡会	5/20(日) 観察会 「七ツ森の自然」観察会 6/3(日) 「栗駒山・ブナと世界谷地の自然」観察会 984-0812 仙台市若林区五十人町85 (T/F)022-223-6334(小野)
江合川水系のブナを守る会	5月中旬 春のブナ林観察会 989-6712 玉造郡鳴子町名生定字黒崎118 ドライブインおーとり内 0229-84-7817
仙台みやぎネイチャーゲームの会	5/20(日) 自然と握手しよう 西公園 7/22(日) 夏の自然を感じよう 泉ヶ岳野外活動センター 7月下旬 東部梅田川水辺フェスティバル 苦竹1丁目地内河畔 982-0803 仙台市太白区金剛沢1-30-50 (T/F)022-224-6776(村田) zkozo@ab.dion.ne.jp
クリーンアップ蒲生	5/27(日) スマイルウォーククリーン2001 泉ヶ岳+七北田公園+蒲生干潟 983-0038 仙台市宮城野区新田1-5-45-204 090-7076-0315(伊藤)
ACT53仙台	5/27(日) もったいない市 10:00～15:00 勾当台公園市民ひろば act53@nobi.or.jp 毎月(第2土曜+その週の木曜) もったいない・や(古着安価販売) 10:30～15:00 事務所 983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5 コーポラス島田A-105 022-295-2910
桜会	5/27・9/23(日) フリーマーケット 10:00～14:00 西公園 6/10・7/15(日) フリーマーケット 10:00～14:00 泉区役所前広場 982-0842 仙台市太白区越路2-10 022-223-0569(佐藤)
グループ根っこ	6/2(土) 第7回松陵フリーマーケット 13:30～15:30 松陵市民センターホール 6/9(土) 牛乳パックからはがき作り 981-3108 仙台市泉区松陵3-8-4 022-375-9362(矢田部) izumi8@mx9.freecom.ne.jp
みやぎの自然学校	6/9・7/1(日) 笹刈り・休耕田の手入れなど(午前)・里山観察会(午後) 松島町手樽 983-0005 仙台市宮城野区福室5-22-6 022-254-8540(保谷) hoayatada@sn.myswan.ne.jp
大沼の自然を愛するヒト・ひと・人の会	6/10(日) 大沼の自然観察会 10:30～12:30(予定) 984-0032 仙台市若林区荒井藤田58-7 022-287-2038(鈴木)
せんだい地球村	6/16(土) 高木善之講演会 13:00～ 楽楽楽ホール 第1水曜19:00～21:00 みんなのミーティング 第3日曜14:30～16:30 仙台市市民活動サポートセンター 981-0200 宮城郡松島町霞ヶ浦2-7 022-354-4002(高橋) kazue-t@h7.dion.ne.jp
サイカチ・ネイチャー・クラブ	6/17(日) 観察会 mon@technowave.ne.jp 980-0822 仙台市青葉区立町12-1 アール・エム・シー・ジャパン内 (T/F)022-262-2731
通町地区自然を守る会	7月下旬 みどりの少年団県大会 松島野外センター 981-0916 仙台市青葉区青葉町16-9 022-233-0805(佐藤)
キブシの会	毎月第3土曜 植物散策(周辺の山を2～3時間で) 13:00～ 八木山・金剛沢 984-0835 仙台市若林区今泉1-12-15 022-289-5608(渡辺)
フリースクール森遊	5月 田植え・ガーデニング 6月 登山(ハイキング) 981-0205 宮城郡松島町幡谷曲田13 (T/F)022-352-2941 yone@orion.ocn.ne.jp



MELON 環境クイズ

ヒントはこの情報紙の中にあります。

Q. 4月12日「京都議定書を守れ! 緊急市民集会 in みやぎ」が開催されましたが、そのきっかけは何でしょう?

- A. COP6 が一度で決着しなかった
- B. 米国のブッシュ大統領が京都議定書から離脱する表明をした
- C. 米軍機が中国に不時着した

正解者の中から抽選で5名の方にMELON協力商品券(¥1,000)を進呈します。

応募要綱・メールかはがきでMELON情報センターまで

・MELON と情報紙についてのご意見・ご要望をお書きください、

締切り 5月18日(金)消印有効・メールは到着分)

会員状況



合計	1,073
法人	137
任意団体	15
個人	921
(2001年3月31日現在)	

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台 5F

事務局 Tel 022-276-5118 Fax 022-276-5160

情報センター Tel 022-301-9146 Fax 022-219-5710

ストップ温暖化センターみやぎ Tel 022-301-9145 Fax 022-219-5710

ホームページ <http://www.comminet.or.jp/people/melon/> E-mail melon@sh.comminet.or.jp